

社会福祉法人 としなが福祉会

1. 理 念

- (1) 地域に深く根ざしたより高い福祉を積極的に推進する
- (2) 「論より愛」の心を燃焼させ人間愛豊かな施設を目指す

2. 基本方針

2021年度の目標である「① 社会福祉充実計画の変更」は、2021年6月24日の理事会の承認を経て東三河広域連合に提出し、8月2日に社会福祉充実計画の変更が承認された。また、「② 新しい社会福祉充実計画を実現するため、複合的な建物の建設準備を進める。」に関しては、検討を重ね現在、詳細設計を進めており、2022年度に建設を予定している。最後に、「③ ホタルの郷の利用者の高齢化に対応するため、ホタルの郷の定員48名から40名への移行の準備及びホタルの郷に高齢者棟の設置の検討」に関しては、定員40名への移行の準備として、グループホームに移行する利用者の人選等進めている。また高齢者棟の設置の検討に関しては、どの部分を高齢者棟にするか等これからも検討を進めていく。

2022年度は2021年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策に万全を尽くすと共に、豊川市一宮町宮前に新しい複合的な建物として交流センター（仮称）の建設を行う。交流センター（仮称）は、グループホーム、短期入所、日中一時支援、販売所の機能を持ち、それぞれの事業を順次進めていく。このことにより、新型コロナウイルスのような感染症が流行しても、地域の障害者の方々にとって必要不可欠な短期入所や日中一時支援等の事業を継続すると共に、ホタルの郷は定員40名へ移行することができる。

最後に、「職員の質の向上と確保」に関しては、新卒者1名（見込み）の採用が決まっているが、ホタルの郷の職員の確保がまだ不十分である。今後も、職員の確保に向けた取り組みを進めていく。これらを推進するため、役職員一同発想の転換を図り、効率かつ適正に業務を推進し、自主的経営基盤の強化を図っていく。

3. 2022年度の目標

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に万全を尽くす
- (2) 交流センター（仮称）の建設（グループホーム、短期入所、日中一時支援事業所、販売所）
- (3) 新給与体制の確立のための検証
- (4) 勤怠管理の準備及び試行
- (5) 法人内業務DX（デジタル・トランスフォーメーション）化のための準備
- (6) 60歳定年後の70歳又は70歳を超えての働き方の検討及び整備